

**都市とライフスタイルの未来を描く国際会議**  
**「Innovative City Forum 2021」開催**  
 ～「今、考える新しい未来」をテーマにオンラインとリアルでハイブリッド開催～

森ビル株式会社が運営する森美術館(館長:片岡真実)とアカデミーヒルズ(理事長:竹中平蔵)、および一般財団法人森記念財団都市戦略研究所(所長:竹中平蔵)は、都市とライフスタイルの未来を議論する国際会議「Innovative City Forum 2021(以下ICF)」を、2021年11月22日～25日にオンラインとリアルのハイブリッドで開催します。

ICFは、「20年後の私たちはどのように生きるのか?」という問いを掲げ、「都市とライフスタイルの未来を描く」をテーマに2013年から毎年開催している国際会議です。国内外から科学者、研究者、技術者、アーティスト、デザイナー、企業経営者、ジャーナリスト等、多様な分野のオピニオンリーダーを招聘し、科学技術の進展等による未来のライフスタイルや、その生活を支える都市の未来について議論を積み重ねてきました。これまでの登壇者は総勢409名、参加者は延べ15,932名にのぼります。

9回目となる今回は、「Alternative Visions ～今、考える新しい未来～」をテーマに、現在の暮らしを見つめ直し原点に立ち戻ったうえで、パンデミックを乗り越えた先にどのような未来を創り出せるのかについて議論を交わします。基調講演には、人口データの分析に基づき、ソ連の崩壊、英国のEU離脱、トランプ政権の誕生など、人類史に残る数々の出来事を予測してきた歴史学者で、世界的ベストセラーとなった『帝国以後』の著者でもあるエマニュエル・トッド氏がオンラインで登壇。そのほか、科学技術振興機構社会技術研究開発センター、立命館アジア太平洋大学、タイムアウト東京とのコラボセッションをはじめ、アート・観光・経済・テクノロジーなど、各分野の有識者がリアルに集う「分科会」などを通じて、それぞれが描く未来の姿を共有し、議論を重ねます。



エマニュエル・トッド

**【Innovative City Forum 2021 開催概要】**

会期	: 2021年11月22日(月)～25日(木)
方式	: オンライン 全セッションライブ配信 [日英同時通訳]
参加費	: オンライン視聴は無料(事前登録制) ※25日のリアル開催は招待制
申込	: <a href="https://icf.academyhills.com/">https://icf.academyhills.com/</a> (10月29日受付開始予定)
主催	: 森記念財団都市戦略研究所、森美術館、アカデミーヒルズ
企画協力	: 科学技術振興機構 社会技術研究開発センター、立命館アジア太平洋大学(APU)
メディアパートナー	: タイムアウト東京
協力	: 国際交流基金、電通若者研究部、国際文化会館、カルチャー・ヴィジョン・ジャパン、新経済連盟
後援	: 在日フランス大使館 / アンスティチュ・フランセ日本

森ビルは、最先端の研究機関や大学、企業と連携し、様々な共同研究や実証実験に取り組んでおります。引き続き、六本木ヒルズをはじめとした“ヒルズ”を舞台に実験や発信を重ねながら、未来の都市とライフスタイルのあるべき姿を議論し、イノベーションを生み出す都市づくりを実践することで、国際都市・東京の磁力向上に貢献してまいります。

**【本件に関してのお問合せ先】**

森ビル株式会社 広報室 福本・茂谷

TEL : 03-6406-6606 FAX : 03-6406-9306 E-mail: [koho@mori.co.jp](mailto:koho@mori.co.jp)

## <ICF2021 分科会概要>

### 働くの未来像 ～「働く」とは何か？リモートワークがもたらす社会の変容～



**川口大司** 東京大学 公共政策大学院/大学院経済学研究科 教授

コロナ禍によって一気に普及したリモートワークは、今後日本で定着していくと考えられています。社会全体に与えるインパクトは、単に個人の働き方が変わることにとどまらない影響があると言われています。個人と家庭のあり方、人々の生活拠点、オフィスや商業施設の立地、街の構成など、社会全体を大きく変えうるものなのです。しかし、企業側で長年定着してきた「どれだけの時間働いたか」で評価する人材管理システムを変えるのは容易ではありません。本セッションでは、個人の「働く/労働」への意識の変化に伴い、企業は「働く/労働」への意識をどのように変えていけばいいのか、具体的に議論します。

### 学びの未来像 ～これからの社会に求められるクリエイティビティとは何か？～



**太刀川英輔** NOSIGNER 代表/デザインストラテジスト

人々は、自分の人生をより良く生きるために、そして社会をより良い方向に前進させるために、「学び」や「教育」を必要とします。「学び」、「教育」は民主主義とは切っても切れない関係にあり、ビジネスにおいても人材育成は常に最重要課題の1つです。いわゆる教育機関による初等、中等、高等教育だけではなく、社会人になってからの「学び」の大切さも、人生 100 年時代にその重要性が認識されるようになってきました。想定外の事態が起こり、環境が激変する中で、過去に正しいとされてきたことがそうではなくなる「正解」の無い時代に、私たちはこれまでとは異なることに挑戦し、新たな価値や可能性を創り出すことが求められています。しかし、従来の「学び」や「教育」では、創造性を育むことは難しく、新しい「学び」の必要性が叫ばれています。このセッションでは、「本当に必要な創造性教育とは何か？」という問いを個人と社会、ビジネスの関係性から捉え、未来の新たな学びの形を展望します。

### 信用の未来像 ～アートと市場と共感の新たな関係～



**小池藍** GO FUND, LLP GP 代表パートナー

人類の発展は、他者への信用によって共同体、社会、国家を形成し発展してきたことは言うまでもありません。現代において他者とは人間のみならず、動植物やウイルス、ロボットや AI、など非人間(他者)との情報交換へと多様化が求められることでしょう。これまでアートは未知の他者同士の共感に大きな役割を果たしてきました。信用の源泉である相互理解、共感の在り方を、メディアアート、デジタルアート、NFT など多様化するアートの分野から、共感から信用、そして新たな価値尺度について考えます。

### 都市の未来像 ～距離と密度の価値の再定義～



**葉村真樹** ポストンコンサルティンググループパートナー&アソシエイトディレクター

知識経済の進展は、創造性を高めるために物理的な近接性を促し、結果として、世界の主要都市において都市機能のコンパクト化が進行してきた。しかし、新型コロナウイルスの流行によって、都市活動が制約を受け、人々の働き方もオンラインを活用した働き方へと変容しつつある。当分科会では、ポストコロナの時代の都市の姿に関して、建築・都市、サイエンス、アートなど幅広い視点で議論する。

### 経済の未来像 ～富か well-being か？開発・成長とサステナビリティ～



**中室牧子** 慶応義塾大学総合政策学部教授

大量生産、大量消費、大量廃棄を前提とした経済成長によって支えられてきた資本主義経済に疑問を持つ人が増えています。また、資本主義が多くの人々に自由と富をもたらした一方で、資本を持つ一部の富裕層に富が集中し、格差が広がっていることも、現代の経済システムに対する不信感を高めています。しかし、コロナ禍で私たちが目の当たりにしたのは、消費を増やさないと経済が回らず、困窮する人々が増えてしまったという現実です。矛盾を抱える現代の経済システムの中で自身の生活を守りながら、社会全体の well-being を底上げしていくにはどうしたらよいのでしょうか？新しい経済のあり方をテーマとする本セッションでは、「開発・成長とサステナビリティ」にフォーカスし、「サステナブルで人々を幸福にする経済システム」とはどのようなものなのかについて考えます。

### 観光の未来像 ～体験価値と消費の新たな関係～



**塚田有那** 編集者/キュレーター

AR・VR など仮想現実が現実空間に重ね合わさることで空間の意味は変質しつつあった。感染症拡大の抑制のため、人流や集合が制限され、分散化する人流は新たな観光の形を生み出すのではないかと。労働の対極としての余暇・娯楽であった観光の在り方は、産業構造の変容によりその定義は曖昧になり、さらにはコロナ禍がもたらしたリモートワークやワーケーションといった新たなライフスタイルのもとで変質する。仮想とリアル、労働と余暇、密集から分散という避けがたいダイナミズムにより、観光はどう変わるのか？

## <ICF2021 プログラム・コミッティ>



竹中平蔵



南條史生



市川宏雄

## <ICF2021 全体スケジュール>

日付	時間	プログラム	登壇者・コラボレーション
11月22日(月)	19:00~21:00	科学と社会の対話の未来	科学技術振興機構 社会技術研究開発センター
11月23日(火)	19:00~20:30	ダイバーシティ&インクルージョンが切り拓く日本の未来	立命館アジア太平洋大学 (APU)
11月24日(水)	19:00~21:00	観光新時代に必要なこと	タイムアウト東京
11月25日(木) ※ハイブリッド開催	13:00~13:15	オープニング	プログラム・コミッティ (竹中平蔵、南條史生、市川宏雄)
	13:15~14:00	キーノート	エマニュエル・トッド (モデレーター:南條史生)
	14:05~14:35	キックオフ	分科会ディレクター (藤沢久美)
	14:45~15:55	分科会(前半) 働くの未来像/学びの未来像/信用の未来像	川口大司/太刀川英輔/小池藍
	16:10~17:20	分科会(後半) 都市の未来像/経済の未来像/観光の未来像	葉村真樹/中室牧子/塚田有那
	17:30~18:00	クロージング	分科会ディレクター(藤沢久美)

## <ICF2021 プレイベント>

社会全体が激変期を迎えている今、「最初に変わる人」であろう Z 世代とともに、あえて「それでも変わらないこと」について話し合う、ICF2021 のプレイベントを開催いたします。モデレーターは、電通が運営する様々なラボの1つである「変わらないことラボ」を主宰する吉田将英さんが担当します。ここで得たフィードバックを登壇者とシェアすることで、ICF2021 での議論に Z 世代の感覚を取り入れていきます。

### 【“最初に変わる世代”と考える、変わらないこと 開催概要】

日	時	: 2021 年 11 月 8 日(月) 19:00~20:30
方	式	: オンライン(定員 470 名)
参	加	費 : 無料(事前登録制)
申	込	: <a href="https://eventregist.com/e/academyhills20211108">https://eventregist.com/e/academyhills20211108</a> (申込期限: 11 月 8 日(月) 19:00)
主	催	: アカデミーヒルズ
協	力	: Innovative City Forum 2021、電通若者研究部